

環境経営 レポート

事業年度 第56期

(2023年7月1日～2024年6月30日)

作成日: 2024年8月5日

2023

目次

- 01.環境経営方針 P02
- 02.組織概要・実施体制 P03～P04
- 03.環境経営目標 P05
- 04.目標に対する実績・評価 P06
- 05.取り組み内容に対する評価 P07～P08
- 06.次年度の計画 P09
- 07.関連法規の遵守状況と代表者の全体評価と見直し・指示 P10
- 08.環境活動 P11～P12
- 09.再生可能エネルギー事業 P13



八洲管理株式会社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、積極的な取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



- ・幅広い年齢層の雇用促進
- ・働きがいを見いだせるような安全安心な職場環境の整備
- ・資格取得補助等による人材育成の充実化



- ・清掃業を通じ、衛生的な生活環境を確保
- ・貯水槽清掃により、きれいで安全な水を提供
- ・ビルメンテナンス業で地域の建物の健康を守る



- ・環境に配慮した資機材の使用で環境負担を低減
- ・省エネルギー促進によりさらなるCO2削減を目指す
- ・太陽光発電により脱炭素社会へ貢献

1. 環境経営方針

八洲管理株式会社はビルメンテナンス事業の柱である清掃業務・設備管理業務及び警備業務において、全従業員が一丸となってエコアクション21の活動を通じて積極的に環境への取組を推進し、「安全で暮らしやすい」環境優先社会の実現に貢献する企業として存続・進化し続けます。

1. 環境負荷の低減と経営を両立させ、取り組みを通じ全従業員が自ら考え自ら行動する企業風土を醸成し、活動をスパイラルアップさせます。
2. 地球温暖化への対応のために、二酸化炭素排出量の削減に努めます。(電力消費量及び業務車両・機器燃料)
3. 循環型社会への対応のために、廃棄物発生量の削減及びリサイクルに努めます。
4. 衛生的な飲料水を提供するとともに、水資源を有効に活用するために、水使用量の削減に努めます。
5. 環境に配慮した製品を優先的に選定し、化学物質の削減に努めます。
6. 環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する提案商材を作ります。
7. 地域美化活動やボランティアに、積極的に参加します。また、効果的な情報発信で環境活動の輪を企業の枠を超えて広めます。
8. 環境関連法令、条例や規制等の要求事項を遵守し、社会の安定の維持のために環境保全に努めます。
9. 環境経営方針に関する教育を全社員に対して行います。

制定日：2018年11月30日

改定日：2020年07月01日

八洲管理株式会社
代表取締役社長 佐藤秀雄

2. 組織概要・実施体制

1. 会社名: 八洲管理株式会社
2. 代表者: 佐藤秀雄
3. 所在地(本社事務所): 広島市西区東観音町19-1
4. 環境管理:
 - (責任者) 設備管理課 高野 隆史
 - (担当者) 清掃サービス課 丸山 幸一

5. 主な業務内容:

01

清掃管理

日常清掃、病院清掃、定期清掃、床面清掃、ガラス清掃、空調清掃、高圧洗浄、エスカレーター清掃、オフィスチェア洗浄

02

設備管理

常駐設備管理、設備の法定点検・保守管理、電気設備、消防設備、建築設備、空調設備、搬送設備(昇降機)

03

環境衛生管理

貯水槽・ポンプ点検、空気環境測定、排水管高圧洗浄、害虫防除、排水槽清掃、グリストラップ清掃

04

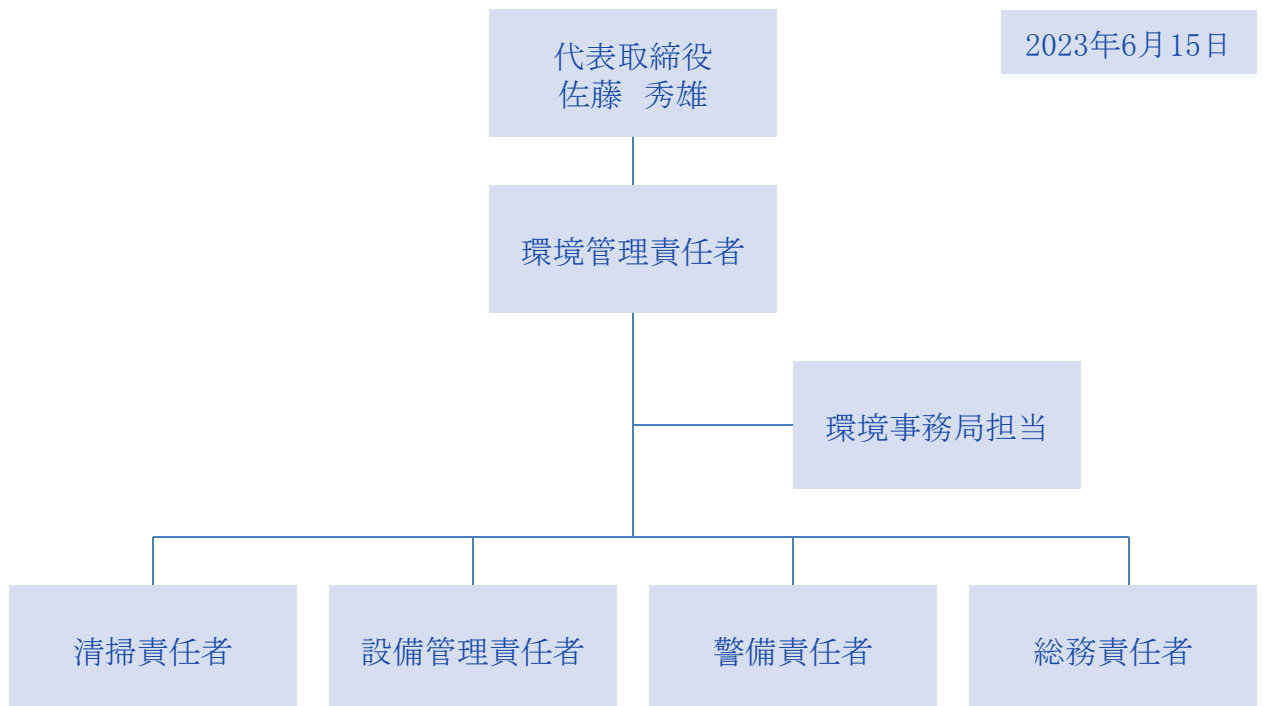
警備保安・受付

常駐警備、出入管理、受付業務・派遣業務、防犯カメラ

2. 組織概要・実施体制

6. 第56期 事業規模:
 売上高 386百万円
 従業員 91人(常勤従業員数に換算した人数)
7. 第56期 事業期間:
 2023年7月1日～2024年6月30日
8. 認証の対象組織・活動:
 対象事業所 本社事務所
 対象活動 全組織及び全活動を対象
9. 事業登録:
 ・建築物環境衛生総合管理業(8号) 広島市17総 第81004号
 ・建築物飲料水貯水槽清掃業(5号) 広島市1貯 第51060号
 ・警備業(1号) 広島県公安委員会認定 第6号 第73000066号
 ・人材派遣業 派34-300679(労働者派遣事業)

10. 実施体制:



3. 環境経営目標

基準に対する第56期及び第57期、第58期の環境経営の目標は下表のとおりに決定しました。近年の状況を踏まえ「電力使用量の削減」の目標設定をする際、第55期の実績を基準としました。

No.	基準となる実績		第56期 目標	第57期 目標	第58期 目標
1	二酸化炭素搬出量の削減		20,789kg-CO2	20,719kg-CO2	19,586kg-CO2
	20,950kg-CO2				
2	電力使用量の削減		8,878kWh	8,872kWh	8,869kWh
	第55期 実績	8,890kWh			
3	ガソリン使用量の削減		5,797L	5,790L	5,785L
	第53期 実績	5,807L			
4	軽油使用量の削減		1,274L	-	-
	第53期 実績	1,418L			
5	一般廃棄物の削減		320kg	320kg	315kg
	第52期 実績	330kg			
6	産業廃棄物の削減		30kg	29kg	28kg
	第51期 実績	34kg			
7	水道水使用量の削減		122m ³ 以下	122m ³ 以下	122m ³ 以下
	第50期 実績	122m ³			
8	化学物質使用量の削減		3kg	3kg	3kg
	第50期 実績	6kg (PRTR該当)			
9	グリーン商品購入の推進		100%	100%	100%
	第52期 実績	100%			
10	環境性能の向上・サービスの改善		2件	2件	2件
	第51期 実績	1件			
11	地域社会に向けた環境啓発活動		2件	2件	2件
	第50期 実績	2件			

注1:電気事業者別排出係数は、平成28年度実績中国電力調整後の0.694 kg-CO2/kWhを使用

注2:水については使用量自体が少量であり、削減が困難であるため現状維持を目標とする

4. 目標に対する実績・評価

環境経営の目標に対する実績と評価は下表の通りとなります。

No.	項目	第56期 目標	第56期 実績	評価
1	二酸化炭素搬出量の削減	20,798 kg-CO ₂	23,569kg-CO ₂	×
2	電力使用量の削減	8,878kWh	8,382kWh	○
3	ガソリン使用量の削減	5,797L	7,474L	×
4	軽油使用量の削減	1,274L	149L	○
5	一般廃棄物の削減	320kg	394kg	×
6	産業廃棄物の削減	30kg	0kg	○
7	水道水使用量の削減	122 m ³ 以下	91 m ³	○
8	化学物質使用量の削減	3kg	1.1kg	○
9	グリーン商品購入の推進	100%	100%	○
10	環境性能の向上・サービスの改善	2件	2件	○
11	地域社会に向けた環境啓発活動	2件	2件	○

注1:電気事業者別排出係数は、平成28年度実績中国電力調整後の0.694 kg-CO₂/kWhを使用

5. 取組内容に対する評価

環境経営の取組内容に対する評価は下表の通りとなります。

No.	取組内容	評価
1	<p><u>電力使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 ・休憩時間の不要照明の消灯 ・コピー機の省エネ設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 → 継続 ・サーキュレーターの設定 → 完了 ・休憩時間の不要照明の消灯 → 継続 ・コピー機の省エネ設定 → 完了 ・不要なアイドルストップ → 継続 ・急加速、急停車の防止 → 継続 ・効率的な移動 → 継続
2	<p><u>ガソリン・軽油使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドルストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>【総括】予定通り軽油使用車両、機材を手放したことで、軽油の使用量は今後はゼロとなるが、代わりにガソリン車が増えたのでガソリン使用量は跳ね上がっている。遠方業務の増加、社員の増員もガソリン使用量の増加の原因であろう。しかし電力量は目標より約6%下回ることが出来た。省エネ型PCへの買い替えと、倉庫のLED化が良い結果をもたらしたと思われる。新規社員だけでなく、改めて既存社員への省エネ教育も進めたい。</p>
3	<p><u>廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・素材ボックスの設置 ・保管場所へ掲示板設置 ・ミスコピーの防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 → 継続 ・素材ボックスの設置 → 完了 ・保管場所へ掲示板設置 → 完了 ・ミスコピーの防止 → 継続 <p>【総括】社員増加により一般廃棄粒量が増加した、一部ゴミ分別が徹底されていない所もあるので、ゴミ分別ルールの徹底を図りたい。</p>
4	<p><u>水道水使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水 	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 → 継続 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 → 完了 ・清掃時、手洗い時の節水 → 継続 <p>【総括】水使用量は目標を達成することが出来た。来期もこの調子で節水意識を保ちつつ目標を達成したい。</p>

5. 取組内容に対する評価

環境経営の取組内容に対する評価は下表の通りとなります。

No.	取組内容	評価
5	<p>化学物質使用量の削減 環境に配慮した化学物質を選定する (PRTR法非該当物質)</p>	<p>ワックスの剥離作業が少なかったため、今期では目標を達成することが出来た。</p>
6	<p>グリーン商品購入の推進 事務用機器の購入時、グリーン購入法 対象機器を選定する。</p>	<p>事務用機器はグリーン購入品を選定した。</p>
7	<p>環境性能の向上・サービスの改善 環境に配慮した商品や製品(LED器具等)を 積極的に提案して省エネの推進を図る</p>	<p>客先でトイレ洗面台の自動水栓化を提案し、施工した。水使用量の削減につながることとなった。また、本社倉庫のLED化をすることで、薄暗かった倉庫が明るくなり、作業効率も上がった。</p>
8	<p>地域社会に向けた環境啓発活動 ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加</p>	<p>2件の環境美化活動へ参加したほか、昨年に引き続きエコキャップ活動に参加、45kgのペットボトルキャップを集め、小児ポリオワクチン購入(約23人分)に貢献した。</p>

6. 次年度の計画内容

環境経営の取組内容を踏まえ、次年度の計画内容は下表の通りとなります。

No.	取組内容	次年度の計画内容
1	<p><u>電力使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調温度の適正管理 (冷房28℃暖房20℃) ・サーキュレーターの設定 ・不要照明の消灯 	<p>今期で目標値を下回ったので、このペースで電力消費量の削減に努めたい。</p>
2	<p><u>ガソリン・軽油使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要なアイドリングストップ ・急加速、急停車の防止 ・効率的な移動 	<p>本社社員の増員を予定しており、電力、ガソリン使用量の増加が見込まれる。できる限り省エネ教育を実施し、使用量増加を抑えたい。</p>
3	<p><u>廃棄物の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別によるリサイクルの推進 ・ミスコピーの防止 ・裏紙の使用 ・リサイクル率の向上 	<p>社員の増加による廃棄物増加は避けられないが、可能な限りリサイクルに回すなどして、ゴミ削減に努めたい。</p>
4	<p><u>水道水使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水の周知徹底 ・節水シールの貼付けとポスター掲示 ・清掃時、手洗い時の節水 	<p>前期の節水状況を今後も継続する。</p>
5	<p><u>化学物質使用量の削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した化学物質を選定する (PRTR 法非該当物質) 	<p>お客様指定のPRTR該当品も代替品へ切り替えが可能かどうか選定を継続する。</p>
6	<p><u>グリーン商品の購入推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。 	<p>引き続き、事務用機器の購入時、グリーン購入法対象機器を選定する。</p>
7	<p><u>環境性能の向上・サービスの改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した商品や製品 (LED器具等) を積極的に提案して省エネの推進 	<p>引き続き、お客様へ環境に配慮したサービスの提案を実施する。</p>
8	<p><u>地域社会に向けた環境啓発活動</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみゼロクリーンウォーク等への積極的な参加 	<p>ごみゼロクリーンウォーク以外の環境活動にも積極的に参加していく。</p>

7. 関連法規の遵守状況と代表者の全体評価と見直し・指示

■各見直し・指示

環境経営方針:変更・指示ともになし 環境経営目標:変更・指示ともになし
環境活動計画:目標値を2023年度の実績に基づき設定する
実施体制:環境管理責任者を含み全体の実施体制を見直す

■関連法規の遵守状況

<適用される主な環境関連法規制>

廃棄物処理法・ビル管法・フロン排出抑制法・化学物質管理促進法(PRTR法)

<遵守状況結果>

環境関連法規などの遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
なお、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

■環境経営目標・計画の取組に関する評価

各環境目標の達成状況については、社員数・車両数の増加という内的要因、地球温暖化などの外的要因により目標値を大きく上回る指標が複数あった。目標値の達成に向けた活動内容が昨年と大きく変わっていないことを踏まえると、まだまだ施策を充実化していく余地は残されていると感じている。特に「ガソリン使用量の削減」「環境性能の向上・サービスの改善」については重点項目と位置づけ、来期以降も活動されたい。

■環境経営システムに関する評価

目標値の達成に向け、個々の部署では引き続き継続的に施策を積み重ね実行しており、その効果を毎年蓄積できていると感じる一方で、短期的な実績を踏まえた素早い対応が出来ていないと感じる。来期も特定の人に偏ることなく全員で取り組む体制を構築することで高い環境意識を醸成し、目標値の達成を目指す。

■総括

当社では環境経営と同様に健康経営に力を入れて取り組んでおり、2022年から健康経営優良法人としても認定されている。全社員がイキイキと健康的に働くことのできる会社作りを目指しているが、この健康的な働き方を阻害している一因となっているのが夏季の「猛暑」である。

世界全体ではもちろんの事、国内でも2023年、2024年ともに猛暑が続いており、環境破壊はもちろんの事、猛暑による熱中症は個々人の身体にも大きな被害をもたらしている。

環境経営を進めるにあたり、その大前提として社員の健康があるのは言うまでもなく、熱中症対策として一昨年から清掃・設備管理・警備の全職種において最新型の空調服を積極的に導入してきた。しかしながらあくまで対処療法であり、やはり根本的な要因である気候変動を最小限に食い止めるために脱炭素化へ向けて我々ができる活動をこれまで以上に広げる必要がある。

脱炭素化を達成するための取り組みの一環として、来期はこれまでの社内施策中心の環境活動に加え、新たに県や市の活動に積極的に参加することを予定している。行政や県内の事業者・団体と足並みをそろえ環境活動に取り組むことで、広い視点で環境問題を捉えると同時に、施策の大小にかかわらず多くの活動を積み重ねる事のできる会社へと成長させていきたい。

2024年8月5日
八洲管理株式会社
代表取締役 佐藤 秀雄

8. 環境活動

本社事業ごみの分別および減量

■ 本社のごみ箱を全てリニューアル

ごみと資源を分別することで資源の再利用を図り、結果、ごみの減量に繋がっていきます。



～分別内容は以下の通り～

- ・可燃ごみ
- ・ペットボトル
- ・リサイクルプラ
- ・缶、びん
- ・金属
- ・エコキャップ
- ・電池

※全てのごみ箱にテプラを貼り、従業員が適切にごみの分別ができるよう「見える化」しました。

良好な照明（職場）環境の実現

■ 本社（倉庫）にLED照明を追加

LED照明を使用することで、エネルギー使用量を削減する省エネ対策を行いました。また、従業員の倉庫での作業効率化を図ります。



8. 環境活動

社内ユニフォーム整理整頓およびリサイクル

■ ユニフォーム棚、ラックを新調

ユニフォームを整理整頓し、必要以上の保管および購入の削減を行いました。古い物や汚れていた物は、廃棄するのではなく、服のリサイクル業者に引き取っていただきました。



チェア洗浄による物品メンテナンス

■ 公共施設のソファ洗浄

長年使用した背もたれや座面に付着した手垢や皮脂汚れを、高温スチームエクストラクターで汚れを分解し除去し、買替ではなくメンテナンスという方法で継続的に使用していただきました。



9. 再生可能エネルギー事業

太陽光発電事業による環境貢献

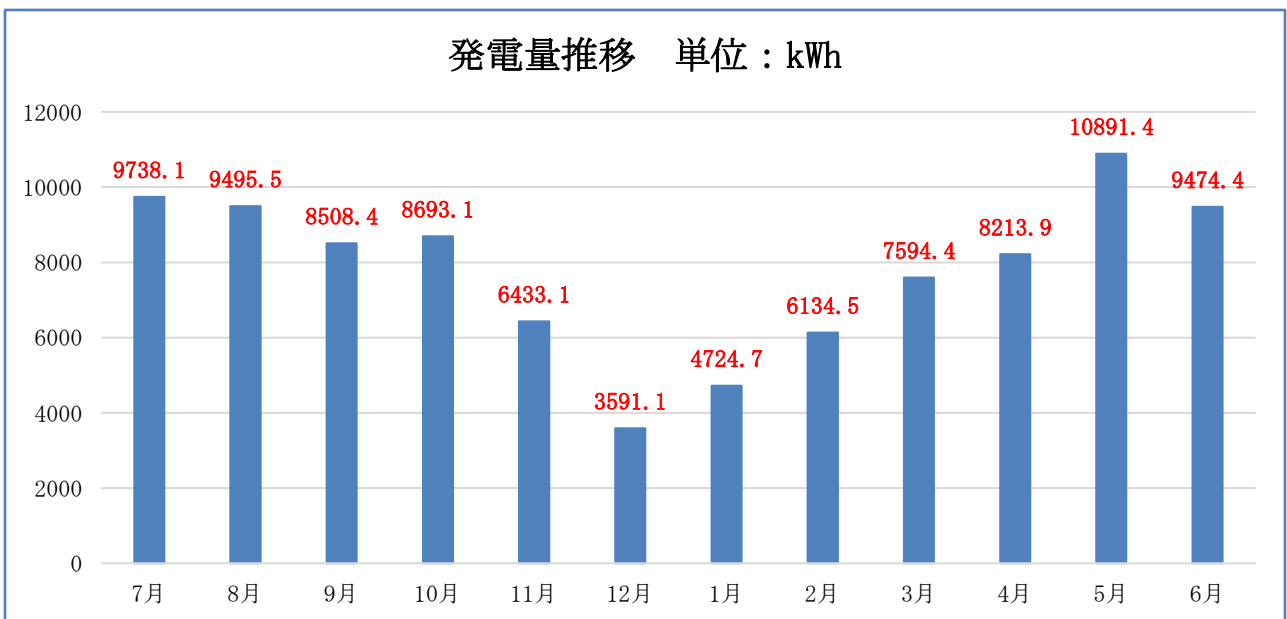
2017年に活動を始めたエコアクション21を通じ環境について会社全体で学び取り組む中で、「環境に良い事業をこの広島ではじめたい」と感じるようになり、2021年6月20日より安佐北区鈴張地区にて太陽光発電所(低圧)を建設、事業を開始しました。



発電量推移

第56期の総発電量は93,492.6kWhでした。これを一般的な戸建の年間電気使用量(4,200kWh)で割ると、22戸分の電力発電した事になります。毎年、夏季には草刈り機による雑草除去を行い、冬季には阻害要因である積雪を処理し、発電の効率化および景観維持に努めております。

今後ともこの事業を継続し、「環境にやさしい」サービスの提供や事業展開を目指して参ります。



EcoAction 21

八洲管理は環境保全に配慮した企業活動で「環境にやさしい」企業を目指します。

引き続き、従業員・協力会社一丸となって「環境にやさしい」事業活動に取り組み、環境負荷低減はもとよりお客様へ環境を配慮したサービスを提供し、持続可能な社会の実現を目指します。

レポート作成者

環境管理責任者: 高野 隆史

環境事務局担当: 丸山 幸一